## ボーリング柱状図

查 名 ボーリングNO. 事業・工事名 - FNO ボーリング名 B-No 1 調査位置 北 續 36°21'17 0000" 発注機関 栃木県栃木土木事務所 企画調査部 企画調査課 調査期間 2008-09-19 ~ 2008-09-25 東 経 139 ° 42 ' 56.0000 " ボー 調査業者名 主任技師 代理人 鑑定者 グ責任者 使用機種 ハンマー 落下用具 孔口標高 39.94 m 試 錐 機 角 Ĕ þ 方 盤勾配 鉛 水平 0° 90° 90°東 下 総掘進長 15.37 m 度 向 エンジン ポンプ 孔内水位 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 標層深 柱 土 色 相相 地層岩体区分 室 掘 深 10cmごとの 打 打撃回数 撃 深試採 深 試 験 名 および結果 進 質 対対 内 厚度 尺高 状 度 度 料 取 (m) 密稠 試 月 X 0 10 20 番 方 义 分 調 度 度 事 貫入量 験 日 測定月日 値 Ν 号 法 10 20 30 (m) (m) (m) (m) 20 30 40 0.10mまで砕石,0.50mまで砂質シ ルト 磯混じり粘土主体 粘性やや大,含水中位 10~20mmの円・亜円礫混入 盛土 (BS) .15 暗褐 粘性大,含水中位 ロームの二次堆積物と推察される 暗灰褐 粘性やや大,含水中位 粘土分多く不均一に粗砂混入 韭 常 粘性大,含水中位 炭化物・浮石が混入 不均質な状態 に軟 09/19 4.45 か 粘土混り 砂礫 (GS-C) -5 2~60mm程度の円・亜円礫が主 が非 なかで充填 6.50m付近まで,孔壁の自立性あ り O 常に軟ら り 6.35 - 6.50m黒色のシルトが多く 混じる 100mm程度の玉石が点在する 7.20m付近シルト層を薄く挟む 7m以深,孔壁の自立性がなく崩壊 性あり 若干の逸水有り .15 3.15 6.40 孔内水平載荷試験 9.76E+00 (-) 8.45 か 7.15 7.15 <u>-</u> 7.45 砂礫 -8 8.15 <u>-</u> 8.41 る 所々で,逸水する 9.20~9.60m全量逸水 [10.50]11m以深,孔壁の自立性が なく崩壊性あり 非常 -10 10.15 10.15 1-5 (<del>-</del>) 粘土混り 砂礫 (GS-C) [12.00] 2~50mm程度の亜円礫が 主体 礫間は,多量の粘土と粒径不均一 深間は、多量の和工と程径不均一な砂からなる [13.00]断続的に若干の逸水あり 孔壁は、やや崩れる程度で自立性 有り -12 12.15 (-) 32 12 45 有リ [14.00]14m付近より風化礫が混入 処々に粘土・砂が優勢な部分が認 められる -13 密な -14 14.15 -15 50 22 24.57 4.07 15.37 25